

# 国宝青井阿蘇神社

人吉球磨に息づく桃山の絢爛美



本殿正面

国指定重要文化財の青井阿蘇神社(本殿・廊・幣殿・拝殿・楼門)の五棟社殿群が熊本県に現存するものとしては初めて国宝に格上げされました。

神社が国宝指定されたのは47年ぶりで、九州では大分県の宇佐神宮本殿に次ぎ2件目となり、茅葺の社寺建築としては全国で初めての国宝となります。

また、青井阿蘇神社のように社殿群を一括で指定されることは稀なことであります。

国宝指定の理由としては、現在の社殿群は人吉藩主相良家20代相良長每の命により慶長年間に一連のものとして造営され、統一の意匠をもち、完成度も高いことが上げられました。

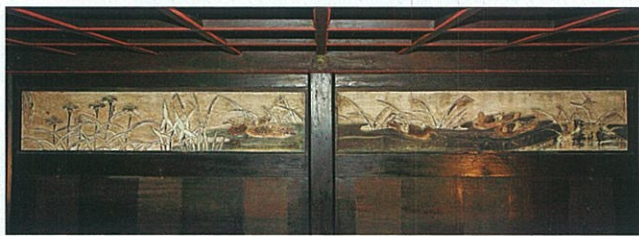
急勾配の茅葺屋根の軒から下を黒漆塗としつつ組物や部材の面に赤漆を併用する技法など中世人吉球磨地方に展開した独自性の強い意匠を継承しつつ、彫刻や彩色、かざり鋳金具などは桃山時代の豪華な装飾性を機敏に取入れ、近世の人吉球磨地方における社寺建築に大きな影響を与えております。また、廊の雲龍など要所を飾る秀麗な彫刻や特異な社殿配置などは、南九州の近世社寺建築の発展にも影響を与えたとされています。



ろうもん  
楼門

すみざ上層の隅木下には「人吉様式」と呼ばれる鬼面が取付けられており、全国的にも類例がありません。また、天井には龍の絵が描かれています。





へいでん かみひいでん  
幣殿(上拝殿)内部小壁



ほんでん  
本殿

現在の社殿群は、慶長15(1610)年から同18年に一連で造営されたものです。×型の棧や格座間の位置等に人吉球磨の社寺建築の特徴がみられます。



ろう  
廊

龍の持ち送りは、南九州の社寺建築に影響を与えたとされています。

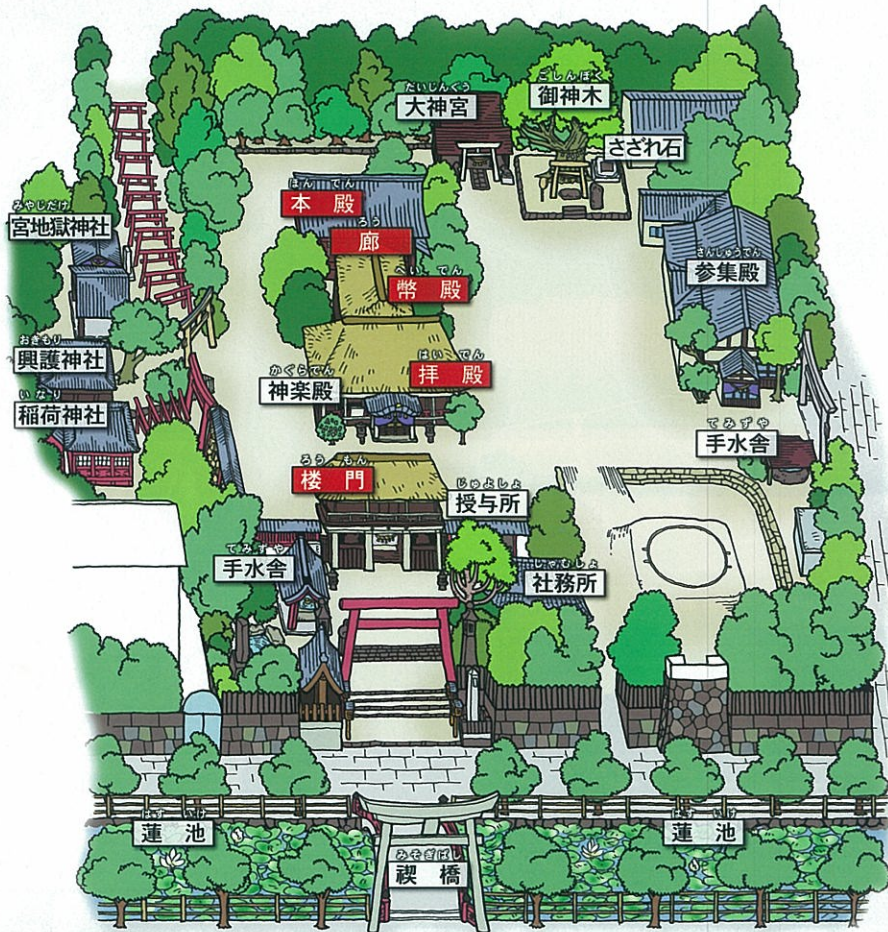


へいでん  
幣殿

内部・外部とも華麗な装飾がみられます。柱を越えてつながる彫刻技法などが特徴です。

内部見学可能

青井阿蘇神社境内見取図



かぐらでん  
神楽殿

国選択無形民俗文化財に指定されている「球磨神楽」が演じられる場所です。



はいでん  
拝殿

内部は拝殿・神楽殿・神供所に分かれています。

内部見学可能

交通のご案内



- 車
  - 福岡IC — 人吉IC ..... 183Km (2時間20分)
  - 熊本IC — 人吉IC ..... 80Km (1時間)
  - 宮崎IC — 人吉IC ..... 105Km (1時間30分)
  - 鹿児島IC — 人吉IC ..... 94Km (1時間20分)
- バス
  - 博多駅交通センター — 人吉IC ..... (2時間40分)
  - 熊本交通センター — 人吉産交 ..... (1時間50分)
  - 宮崎駅 — 人吉産交 ..... (1時間50分)
  - 鹿児島空港 — 人吉産交 ..... (1時間)
- JR
  - 熊本駅 — 人吉駅 (特急) ..... (1時間30分)
  - 鹿児島中央駅 < 肥薩線経由 (持ち時間含まず) 人吉駅 (2時間40分)
  - 鹿儿岛中央駅 < 新幹線経由 (持ち時間含まず) 人吉駅 (1時間50分)
  - 博多駅 — 人吉駅 (特急) ..... (2時間50分)

※時間はいずれも目安です。